

学校コード F133310109536

注3

設置年度 令和 5年度

計画の区分： 学部の学科の設置

注1

届出

注2

吉備国際大学 農学部 海洋水産生物学科

【届出】 設置に係る設置計画履行状況報告書
(改正前大学設置基準適用)

学校法人順正学園
令和5年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名	総合企画部
職名・氏名	サンジ オオウチモヒロ 参事 大内知洋
電話番号	086-231-3613（内線：7375）
（夜間）	086-231-3613（内線：7375）
e-mail	kikaku@kiui.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「〇〇大学」
- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、当該番号を記載してください。

https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

目次

農学部

＜海洋水産生物学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	11
4. 既設大学等の状況	12
5. 教員組織の状況	13
6. 附帯事項等に対する履行状況等	26
7. その他全般的事項	27

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人順正学園

(2) 大学名

吉備国際大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒656-0484 兵庫県南あわじ市志知佐礼尾370番地 [〒716-8508 岡山県高梁市伊賀町8番地]

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(カケ ユウキ) 加計 勇樹 (令和2年6月)		
学長	(カワムラ ケンジ) 河村 顕治 (令和3年4月)		
学部長	(アイノ マサタカ) 相野 公孝 (令和3年4月)		
学科長等	(ホリ ユタカ) 堀 豊 (令和5年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 令和4年度に報告済の内容 → (4)

令和5年度に報告する内容 → (5)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部や学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
 ・ 様式は、平成30年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合(令和5年度までの6年間)ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
 ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) -① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
農学部 海洋水産生物学科 学士(農学)	農学関係	4年	40人	2年次 0人 3年次 0人 4年次 0人	160人		

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。(学生募集停止を予定していない場合は「-」を選択。)

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		平均入学定員超過率	平均入学定員超過率(控除後)	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	備考		
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期							
A 入学定員	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	40 (-) [-]	0.92倍	- 倍	0.92倍	- 倍		
志願者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	222 (-) [-]						
受験者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	203 (-) [-]						
合格者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	181 (-) [-]						
B 入学者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	37 (-) [-]						
入学定員超過率 B/A													0.92						

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください)。
 ・ 調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「-」を記入してください。
 ・ ()内には、編入学の状況について**外数**で記入してください。なお、編入学を複数年度で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 ・ 転入学生は記入しないでください。
 ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。
 また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出**してください。
 なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、**小数点以下第2位まで記入**してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。
計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 ・ 「平均入学定員超過率(控除後)」には、「平均入学定員超過率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」附則第2項及び第4項に該当する入学者の控除後の「平均入学定員超過率」を記入してください。□
 なお、「平均入学定員超過率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除該当者がいない場合は、「-」としてください。
 ・ 「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
 算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和6年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
 なお、計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入**してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
 ・ 「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
 なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	37	-	
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
2年次			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
			[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	
			(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
3年次					-	-	-	-	-	-	-	-	
					[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	
					(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
4年次							-	-	-	-	-	-	
							[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	
							(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	37	-	
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について、**内数で記入**してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、**留年者の状況**について、**内数で記入**してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ **編入学生や転入学生も含めて記入**してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。**春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入**してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成30年度	人	人	平成30年度	人	人	
令和元年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
令和2年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
令和3年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
令和4年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
令和5年度	37人	0人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
			令和5年度	0人	0人	
合計		0人		0人	0人	

- (注)・ 数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 - 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 - 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{37} = \boxed{0} \%$$

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教員	准教授	講師	助教	助手		
												修
水圏生物系科目	水生生物学Ⅰ	2前	2			1						
	水生生物学Ⅱ	2前	2			1						
	水生生物学Ⅲ	2後	2			2						
	水圏の環境と保全	2前		2		2					1	
	アクアリウムサイエンスⅠ	2前	2			1					1	
	アクアリウムサイエンスⅡ	2後	2			2					1	
	フィッシングサイエンスⅠ	3前	2			1					1	
	フィッシングサイエンスⅡ	3後	2			2				1		
	水産増養殖Ⅰ	2後	2			1						
	水産増養殖Ⅱ	3前	2			1					1	
	水産増養殖Ⅲ	3後	2			2					1	
	海川の生物とレジャー	2前	2			2					1	
	生物統計学	2後	2									1
水圏生物学実習	1前	1			2		1		1			
水圏フィールド実習	2前	1			2		1		1			
学芸員科目	生涯学習概論	2前	2									1
	博物館概論	2後	2									1
	博物館経営論	3前	2									1
	博物館資料論	3前	2									1
	博物館資料保存論	3後	2									1
	博物館展示論	3後	2									1
	博物館教育論	4前	2									1
	博物館情報・メディア論	4前	2									1
	博物館実習	4通	3			1	1					
	食品化学系科目	水産食品学	2前	2								
食品化学		2前	2									1
栄養化学		2後	2									1
食品機能分析化学		3前	2				1					1
食品加工化学		2後	2									1
食品管理化学		3前	2									1
食品衛生学		2後	2									1
微生物学		2前	2									1
醱酵微生物学		3後	2									1
水産物加工学		2前	2									1
農産物加工学		2後	2									1
肉肉加工学		3前	2									1
乳製品加工学	2前	2									1	
味と食感の科学	3後	2		1			1				2	
水産食品学実習	3前	1		2			1	1				
地域創生系科目	地域調査法	3前	2			1	1					1
	地域人口学	3後	2			1						1
	地域保健学	2後	2			1						1
	地域社会学	3前	2				1					1
	農業開発社会学	3後	2									1
	農業・食品業の地域ブランド戦略	3前	2									1
	食と農のデザイン論	3後	2									1
	山・里・海の連携学	3前	2									1
	森林生態管理學	2後	2									1
	ランドスケープデザイン学	3後	2									1
	ソーシャルファーム論	4前	2									1
地域マネジメント論	4前	2									1	
専門応用科目	インターンシップ	3前	2									1
	海洋水産生物学演習Ⅰ	3前	2			4	2	1	1			
	海洋水産生物学演習Ⅱ	3後	2			4	2	1	1			
	海洋水産生物学演習Ⅲ	4前	2			4	2	1	1			
	海洋水産生物学演習Ⅳ	4後	2			4	2	1	1			
	課題研究	4通	10			4	2	1	1			
小計(75科目)	-	30	120	0	4	2	1	1	1	0	33	
合計(123科目)	-	48	192	0	4	2	1	1	1	0	46	

卒業要件及び履修方法

全学共通教養科目の中から必修科目18単位を含む24単位以上、専門基礎科目及び水圏生物系科目、学芸員科目、食品科学系科目、地域創成系科目、専門応用科目から必修科目30単位を含む100単位以上を修得し、合計124単位以上を修得し、卒業論文を作成すること。(履修科目の登録の上限:49単位(年間))

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教員	准教授	講師	助教	助手		
												修
水圏生物系科目	水生生物学Ⅰ	2前	2			1						
	水生生物学Ⅱ	2前	2			1						
	水生生物学Ⅲ	2後	2			2						
	水圏の環境と保全	2前		2		2					1	
	アクアリウムサイエンスⅠ	2前	2			1					1	
	アクアリウムサイエンスⅡ	2後	2			2					1	
	フィッシングサイエンスⅠ	3前	2			1					1	
	フィッシングサイエンスⅡ	3後	2			2				1		
	水産増養殖Ⅰ	2後	2			1						
	水産増養殖Ⅱ	3前	2			1					1	
	水産増養殖Ⅲ	3後	2			2					1	
	海川の生物とレジャー	2前	2			2					1	
	生物統計学	2後	2									1
水圏生物学実習	1前	1			2		1		1	1		
水圏フィールド実習	2前	1			2		1		1	1		
学芸員科目	生涯学習概論	2前	2									1
	博物館概論	2後	2									1
	博物館経営論	3前	2									1
	博物館資料論	3前	2									1
	博物館資料保存論	3後	2									1
	博物館展示論	3後	2									1
	博物館教育論	4前	2									1
	博物館情報・メディア論	4前	2									1
	博物館実習	4通	3			1						
	食品化学系科目	水産食品学	2前	2								
食品化学		2前	2									1
栄養化学		2後	2									1
食品機能分析化学		3前	2									1
食品加工化学		2後	2									1
食品管理化学		3前	2									1
食品衛生学		2後	2									1
微生物学		2前	2									1
醱酵微生物学		3後	2									1
水産物加工学		2前	2									1
農産物加工学		2後	2									1
肉肉加工学		3前	2									1
乳製品加工学	2前	2									1	
味と食感の科学	3後	2		1			1				2	
水産食品学実習	3前	1		2			2		1	1		
地域創生系科目	地域調査法	3前	2			1	1					1
	地域人口学	3後	2			1						1
	地域保健学	2後	2			1						1
	地域社会学	3前	2				1					1
	農業開発社会学	3後	2									1
	農業・食品業の地域ブランド戦略	3前	2									1
	食と農のデザイン論	3後	2									1
	山・里・海の連携学	3前	2									1
	森林生態管理學	2後	2									1
	ランドスケープデザイン学	3後	2									1
	ソーシャルファーム論	4前	2									1
地域マネジメント論	4前	2									1	
専門応用科目	インターンシップ	3前	2									1
	海洋水産生物学演習Ⅰ	3前	2			4	2	3	1	1	2	
	海洋水産生物学演習Ⅱ	3後	2			4	2	3	1	1	2	
	海洋水産生物学演習Ⅲ	4前	2			4	2	3	1	1	2	
	海洋水産生物学演習Ⅳ	4後	2			4	2	3	1	1	2	
	課題研究	4通	10			4	2	3	1	1	2	
小計(75科目)	-	30	120	0	4	2	3	1	1	2	0	33
合計(123科目)	-	48	192	0	4	2	3	1	1	2	0	46

卒業要件及び履修方法

全学共通教養科目の中から必修科目18単位を含む24単位以上、専門基礎科目及び水圏生物系科目、学芸員科目、食品科学系科目、地域創成系科目、専門応用科目から必修科目30単位を含む100単位以上を修得し、合計124単位以上を修得し、卒業論文を作成すること。(履修科目の登録の上限:49単位(年間))

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和4年度開設であれば令和3年度以前)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務実習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧シートを分けてご作成ください。

(1) 一②授業科目表に関する変更内容

【令和5年度】

- ・1名（教授）の専任教員の就任辞退（未就任）の理由により、1名（准教授）を教授へ昇格した。
- ・1名（教授）の専任教員の就任辞退（未就任）の理由により、1名（助教）を新たに採用した。
- ・1名（教授）の専任教員の就任辞退（未就任）の理由により、「情報活用」「数理・データサイエンス・AI基礎」「数的理解」の専任教員等の配置をそれぞれ「教授1」から「助教1」に変更した。
- ・1名（教授）の専任教員の就任辞退（未就任）の理由により、「食の安全学」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授1」、「助教1」から「助教2」に変更した。
- ・1名（教授）の専任教員の就任辞退（未就任）の理由により、「基礎演習Ⅰ」「基礎演習Ⅱ」「基礎演習Ⅲ」「基礎演習Ⅳ」「海洋水産生物学演習Ⅰ」「海洋水産生物学演習Ⅱ」「海洋水産生物学演習Ⅲ」「海洋水産生物学演習Ⅳ」の専任教員等の配置をそれぞれ「教授4」から「教授3」、「准教授2」から「准教授1」、「助教1」から「助教2」に変更。
- ・1名（准教授）の昇格の理由により、「化学」「遺伝学」「生物の進化と多様性」「生物学実験」の専任教員等の配置をそれぞれ「准教授1」から「教授1」に変更した。

- (注) ・ 2(1)一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度（令和4年度開設であれば令和3年度以前）の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
30 科目	81 科目	0 科目	111 科目	30 科目 [0]	81 科目 [0]	0 科目 [0]	111 科目 [0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

・ 該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{111} = \boxed{0}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考		
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計			
	校舎敷地	118,976.58 m ²	0m ²	0m ²	118,976.58 m ²			
	運動場用地	49,138.20 m ²	0m ²	0m ²	49,138.20 m ²			
	小 計	168,114.78 m ²	0m ²	0m ²	168,114.78 m ²			
	そ の 他	102,711.44 m ²	0m ²	0m ²	102,711.44 m ²			
	合 計	270,826.22 m ²	0m ²	0m ²	270,826.22 m ²			
(2) 校舎		専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計			
		48,032.88 m ² (48,032.88 m ²)	0 m ² (0 m ²)	0 m ² (0 m ²)	48,032.88 m ² (48,032.88 m ²)			
(3) 教室等		講義室 58 室	演習室 54 室	実験実習室 77 室	情報処理学習施設 6 室 (補助職員 人)	語学学習施設 4 室 (補助職員 人)		
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称 農学部 海洋水産生物学科			室 数 8 室	大学全体		
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	
	農学部 海洋水産生物学科	(2,052 [118]) -(1,904 [113])	13 [1]	1 [1]	80	332	0	
		(2,052 [118]) -(1,904 [113])	(13 [1])	(1 [1])	(80)	(332)	(0)	
	計	(2,052 [118]) -(1,904 [113])	13 [1]	1 [1]	80	332	0	
		(2,052 [118]) -(1,904 [113])	(13 [1])	(1 [1])	(80)	(332)	(0)	
(6) 図書館		面 積 2,149 m ²	閱 覧 座 席 数 420	収 納 可 能 冊 数 144,819	大学全体			
(7) 体育館		面 積 2,625.50 m ²	体育館以外のスポーツ施設の概要 雨天練習場 (野球) サッカー場 (人工芝) 1面			大学全体		
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員 1 人当り研究費等	328 千円	328 千円	図書購入費	1,150 千円	100 千円	100 千円
	共同研究費等	10,000 千円	10,000 千円	設備購入費	7,500 千円	6,500 千円	1,000 千円	
	学生 1 人当り納付金	第 1 年次	第 2 年次	第 3 年次	第 4 年次	第 5 年次	第 6 年次	
		1,450 千円	1,150 千円	1,150 千円	1,150 千円	千円	千円	
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常経費補助金、資産運用収入、雑収入等						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和5年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(5)」を「備考」に赤字で記入してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	吉備国際大学										平均入学定員超過率0.7倍以下の学科数	3	平均入学定員超過率1.15倍以上の学科数	0	収容定員充足率0.7倍以下の学科数	3	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	0
	既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	平均入学定員超過率(控除後)	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備考				
社会科学部		年	人	年次人	人		倍	倍	倍	倍	年度	年度						
経営社会学科	4	100	3年次2	324	学士(経営社会学)	0.76	-	0.80	-		平成25	同上	令和3年度から入学定員変更(60→100)					
スポーツ社会学科	4	80	-	320	学士(社会学)	0.80	-	0.76	-		平成17	同上						
保健医療福祉学部																		
看護学科	4	60	3年次10	260	学士(看護学)	0.46	-	0.55	-		平成7	同上						
理学療法学科	4	40	-	160	学士(理学療法)	0.81	-	0.82	-		平成7	同上						
作業療法学科	4	40	-	160	学士(作業療法)	0.31	-	0.30	-		平成7	同上						
心理学部																		
心理学科	4	40	-	160	学士(心理学)	1.04	-	0.91	-		平成19	同上						
子ども発達教育学科	4	-	-	-	学士(子ども発達教育学)	-	-	-	-		平成23	同上	令和3年度入学生より学生募集停止					
農学部																		
地域創成農学科	4	50	3年次2	204	学士(農学)	0.69	-	0.68	-		平成25	兵庫県南あわじ市志知佐丸尾370番1						
醸造学科	4	-	-	-	学士(農学)	-	-	-	-		平成30	同上	令和5年度入学生より学生募集停止					
海洋水産生物学科	4	40	-	40	学士(農学)	0.92	-	0.92	-		令和5	同上						
外国語学部																		
外国学科	4	50	-	200	学士(外国語学)	0.94	-	0.89	-		平成26	岡山県岡山市北区奥田西町5番5号						
アニメーション文化学部																		
アニメーション文化学科	4	40	-	160	学士(アニメーション文化)	0.71	-	0.72	-		平成26	岡山県高梁市伊賀町8番地						
通信教育部心理学部																		
子ども発達教育学科	4	-	-	-	学士(子ども発達教育学)	-	-	-	-		平成24	同上	令和3年度入学生より学生募集停止					
大学全体		540	3年次14	2,002	-	-	-	-	-		-	-						

(注)・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校(以下「大学等」という。)について、既に設置している学部等(短期大学、高等専門学校にあっては学科等)の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。(大学院、専攻科及び別科を除く)。
 なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。
 (様式のうち、記載する必要がない学校種は削除してください。)
 ・学部/学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。
 履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 ・本年度ACの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 ・「平均入学定員超過率」には、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 ・「平均入学定員超過率(控除後)」には、「平均入学定員超過率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」附則第2項及び第4項に該当する入学者の控除後の「平均入学定員超過率」を記入してください。□
 なお、「平均入学定員超過率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除該当者がいない場合は、「-」としてください。
 ・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
 算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和6年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
 ・「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
 なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合は、「-」としてください。
 ・「平均入学定員超過率(控除後含む)」及び「収容定員充足率(控除後含む)」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず太字にしてください。
 ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<農学部 海洋水産生物学科>

(1) -① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	スエヨシ シュウジ 末吉 秀二 (66) <令和5年4月> 保健科学博士
		グローバルスタディーズ入門 多様性の理解 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 基礎演習Ⅲ 基礎演習Ⅳ 地域調査法 ※ 地域人口学 地域保健学 海洋水産生物学演習Ⅰ 海洋水産生物学演習Ⅱ 海洋水産生物学演習Ⅲ 海洋水産生物学演習Ⅳ 課題研究
専	教授	ホリ ユタカ 堀 豊 (64) <令和5年4月> 博士(学術)
		課題解決演習 キャリア実践Ⅰ キャリア実践Ⅱ 海洋水産生物学概論 ※ 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 基礎演習Ⅲ 基礎演習Ⅳ 海洋水産生物ビジネスの技術と倫理 ※ 食の安全学 ※ 水生生物学Ⅲ ※ 水圏の環境と保全 ※ フィッシングサイエンスⅡ ※ 水産増養殖Ⅰ 水産増養殖Ⅱ ※ 海川の生物とレジャー ※ 水圏生物学実習 水圏フィールド実習 水産食品学実習 海洋水産生物学演習Ⅰ 海洋水産生物学演習Ⅱ 海洋水産生物学演習Ⅲ 海洋水産生物学演習Ⅳ 課題研究

【令和5年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	スエヨシ シュウジ 末吉 秀二 (66) <令和5年4月> 保健科学博士
		グローバルスタディーズ入門 多様性の理解 海洋水産生物学概論 ※ 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 基礎演習Ⅲ 基礎演習Ⅳ 地域調査法 ※ 地域人口学 地域保健学 海洋水産生物学演習Ⅰ 海洋水産生物学演習Ⅱ 海洋水産生物学演習Ⅲ 海洋水産生物学演習Ⅳ 課題研究
専	教授	ホリ ユタカ 堀 豊 (64) <令和5年4月> 博士(学術)
		課題解決演習 キャリア実践Ⅰ キャリア実践Ⅱ 海洋水産生物学概論 ※ 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 基礎演習Ⅲ 基礎演習Ⅳ 海洋水産生物ビジネスの技術と倫理 ※ 食の安全学 ※ 水生生物学Ⅲ ※ 水圏の環境と保全 ※ フィッシングサイエンスⅡ ※ 水産増養殖Ⅰ 水産増養殖Ⅱ ※ 海川の生物とレジャー ※ 水圏生物学実習 水圏フィールド実習 水産食品学実習 海洋水産生物学演習Ⅰ 海洋水産生物学演習Ⅱ 海洋水産生物学演習Ⅲ 海洋水産生物学演習Ⅳ 課題研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	ハシモト クミコ 橋本 久美子 (58) <令和5年4月> 博士(理学)
		情報活用 数理・データサイエンス・AI基礎 数理・データサイエンス・AI応用 数的理解 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 基礎演習Ⅲ 基礎演習Ⅳ 食の安全学 ※ 博物館実習 味と食感の科学 ※ 海洋水産生物学演習Ⅰ 海洋水産生物学演習Ⅱ 海洋水産生物学演習Ⅲ 海洋水産生物学演習Ⅳ 課題研究
専	教授	ハマノ タツオ 濱野 龍夫 (65) <令和6年4月> 農学博士
		海洋水産生物学概論 ※ 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 基礎演習Ⅲ 基礎演習Ⅳ 水生生物学Ⅰ 水生生物学Ⅱ 水生生物学Ⅲ ※ 水圏の環境と保全 ※ フィッシングサイエンスⅠ ※ フィッシングサイエンスⅡ ※ 海川の生物とレジャー ※ 水圏生物学実習 水圏フィールド実習 水産食品学実習 海洋水産生物学演習Ⅰ 海洋水産生物学演習Ⅱ 海洋水産生物学演習Ⅲ 海洋水産生物学演習Ⅳ 課題研究
兼任	講師	ハマノ タツオ 濱野 龍夫 (65) <令和5年4月> 農学博士
		海洋水産生物学概論 ※ 水圏生物学実習
専	准教授	ヒライ ジュン 平井 順 (50) <令和5年4月> 博士(社会学)
		きびこく学 SDGs論 社会学 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 基礎演習Ⅲ 基礎演習Ⅳ 博物館実習 地域調査法 ※ 地域社会学 海洋水産生物学演習Ⅰ 海洋水産生物学演習Ⅱ 海洋水産生物学演習Ⅲ 海洋水産生物学演習Ⅳ 課題研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	ハマノ タツオ 濱野 龍夫 (65) <令和6年4月> 農学博士
		海洋水産生物学概論 ※ 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 基礎演習Ⅲ 基礎演習Ⅳ 水生生物学Ⅰ 水生生物学Ⅱ 水生生物学Ⅲ ※ 水圏の環境と保全 ※ フィッシングサイエンスⅠ ※ フィッシングサイエンスⅡ ※ 海川の生物とレジャー ※ 水圏生物学実習 水圏フィールド実習 水産食品学実習 海洋水産生物学演習Ⅰ 海洋水産生物学演習Ⅱ 海洋水産生物学演習Ⅲ 海洋水産生物学演習Ⅳ 課題研究
兼任	講師	ハマノ タツオ 濱野 龍夫 (65) <令和5年4月> 農学博士
		海洋水産生物学概論 ※ 水圏生物学実習
専	准教授	ヒライ ジュン 平井 順 (50) <令和5年4月> 博士(社会学)
		きびこく学 SDGs論 社会学 海洋水産生物学概論 ※ 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 基礎演習Ⅲ 基礎演習Ⅳ 博物館実習 地域調査法 ※ 地域社会学 海洋水産生物学演習Ⅰ 海洋水産生物学演習Ⅱ 海洋水産生物学演習Ⅲ 海洋水産生物学演習Ⅳ 課題研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	ヒミ エイコ 水見 英子 (52) <令和5年4月> 博士(農学)
		化学 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 基礎演習Ⅲ 基礎演習Ⅳ 遺伝学 生物の進化と多様性 ※ 生物学実験 海洋水産生物学演習Ⅰ 海洋水産生物学演習Ⅱ 海洋水産生物学演習Ⅲ 海洋水産生物学演習Ⅳ 課題研究
		ハヤシ マサヤ 林 将也 (33) <令和5年4月> 博士(農学)
専	講師	情報活用 数理・データサイエンス・AI基礎 数理・データサイエンス・AI応用 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 基礎演習Ⅲ 基礎演習Ⅳ 海洋水産生物ビジネスの技術と倫理 ※ 食の安全学 ※ 水圏生物学実習 水圏フィールド実習 食品機能分析化学 味と食感の科学 ※ 水産食品学実習 海洋水産生物学演習Ⅰ 海洋水産生物学演習Ⅱ 海洋水産生物学演習Ⅲ 海洋水産生物学演習Ⅳ 課題研究
		ヨネザワ タカヤス 米澤 孝康 (36) <令和5年4月> 修士(学術)
		課題解決演習 キャリアデザインⅠ キャリアデザインⅡ 海洋水産生物学概論 ※ 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 基礎演習Ⅲ 基礎演習Ⅳ 海洋水産生物ビジネスの技術と倫理 ※ 海洋水産生物ビジネスの経済と流通 ※ 食の安全学 ※ フィッシングサイエンスⅡ ※ 海川の生物とレジャー ※ 水圏生物学実習 水圏フィールド実習 水産食品学 海洋水産生物学演習Ⅰ 海洋水産生物学演習Ⅱ 海洋水産生物学演習Ⅲ 海洋水産生物学演習Ⅳ 課題研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	ヒミ エイコ 水見 英子 (52) <令和5年4月> 博士(農学)
		化学 海洋水産生物学概論 ※ 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 基礎演習Ⅲ 基礎演習Ⅳ 遺伝学 生物の進化と多様性 ※ 生物学実験 海洋水産生物学演習Ⅰ 海洋水産生物学演習Ⅱ 海洋水産生物学演習Ⅲ 海洋水産生物学演習Ⅳ 課題研究
		ハヤシ マサヤ 林 将也 (33) <令和5年4月> 博士(農学)
専	講師	情報活用 数理・データサイエンス・AI基礎 数理・データサイエンス・AI応用 海洋水産生物学概論 ※ 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 基礎演習Ⅲ 基礎演習Ⅳ 海洋水産生物ビジネスの技術と倫理 ※ 食の安全学 ※ 水圏生物学実習 水圏フィールド実習 食品機能分析化学 味と食感の科学 ※ 水産食品学実習 海洋水産生物学演習Ⅰ 海洋水産生物学演習Ⅱ 海洋水産生物学演習Ⅲ 海洋水産生物学演習Ⅳ 課題研究
		ヨネザワ タカヤス 米澤 孝康 (36) <令和5年4月> 修士(学術)
		課題解決演習 キャリアデザインⅠ キャリアデザインⅡ 海洋水産生物学概論 ※ 情報活用 数理・データサイエンス・AI基礎 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 基礎演習Ⅲ 基礎演習Ⅳ 海洋水産生物ビジネスの技術と倫理 ※ 海洋水産生物ビジネスの経済と流通—※ 食の安全学 ※ フィッシングサイエンスⅡ ※ 海川の生物とレジャー ※ 水圏生物学実習 水圏フィールド実習 水産食品学 海洋水産生物学演習Ⅰ 海洋水産生物学演習Ⅱ 海洋水産生物学演習Ⅲ 海洋水産生物学演習Ⅳ 課題研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	ソン キゼン 孫 基然 (62) <令和5年4月> 医学修士(中国)
		中国語と中国文化Ⅰ 中国語と中国文化Ⅱ
兼任	教授	カトウ ケンジ 加藤 健次 (68) <令和5年4月> 修士(文学)
		フランス語とフランス文化Ⅰ フランス語とフランス文化Ⅱ
兼任	教授	シミズ コウジ 清水 光二 (67) <令和5年4月> 文学修士
		ドイツ語とドイツ文化Ⅰ ドイツ語とドイツ文化Ⅱ
兼任	教授	イコマ マサフミ 生駒 正文 (77) <令和5年4月> 法学修士 ※
		日本国憲法 農業・食品業の地域ブランド戦略
兼任	教授	モリノ マリ 森野 真理 (56) <令和5年4月> 博士(工学)
		生物学 環境科学 生物統計学 地域調査法 ※ 森林生態管理学
兼任	教授	アイノ マサタカ 相野 公孝 (65) <令和5年4月> 博士(農学)
		食の安全学 ※ フィッシングサイエンスⅠ ※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
		ヤマムロ タツヤ 山室 達也 (29) <令和5年4月> 修士(学術)
専任	助教	キャリアデザインⅠ キャリアデザインⅡ 情報活用 数値・データサイエンス・AI基礎 数的理解 海洋水産生物学概論 ※ 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 基礎演習Ⅲ 基礎演習Ⅳ 食の安全学 ※ 水圏生物学実習 海洋水産生物学演習Ⅰ 海洋水産生物学演習Ⅱ 海洋水産生物学演習Ⅲ 海洋水産生物学演習Ⅳ 課題研究
兼任	教授	ソン キゼン 孫 基然 (62) <令和5年4月> 医学修士(中国)
		中国語と中国文化Ⅰ 中国語と中国文化Ⅱ
兼任	教授	カトウ ケンジ 加藤 健次 (68) <令和5年4月> 修士(文学)
		フランス語とフランス文化Ⅰ フランス語とフランス文化Ⅱ
兼任	教授	シミズ コウジ 清水 光二 (67) <令和5年4月> 文学修士
		ドイツ語とドイツ文化Ⅰ ドイツ語とドイツ文化Ⅱ
兼任	教授	イコマ マサフミ 生駒 正文 (77) <令和5年4月> 法学修士 ※
		日本国憲法 農業・食品業の地域ブランド戦略
兼任	教授	モリノ マリ 森野 真理 (56) <令和5年4月> 博士(工学)
		生物学 環境科学 生物統計学 地域調査法 ※ 森林生態管理学
兼任	教授	アイノ マサタカ 相野 公孝 (65) <令和5年4月> 博士(農学)
		食の安全学 ※ フィッシングサイエンスⅠ ※

専任・ 兼任・ 兼任の 別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	イノウエ モリマサ 井上 守正 (60) <令和6年4月> 農学士
		食の安全学 ※ 化学実験 食品管理化学 味と食感の科学 ※ インターンシップ
兼任	准教授	ハマシマ アツヒロ 濱島 敦博 (49) <令和5年4月> 修士(農学)
		経済学
兼任	准教授	ヤマモト アツユキ 山本 敦之 (63) <令和5年4月> 修士(理学)
		哲学
兼任	准教授	ヒバラ ケンイチロウ 松原 健一郎 (47) <令和6年4月> 博士(バイオサイエンス)
		分子生物学 生物学実験
兼任	准教授	ムラカミ ジロウ 村上 二郎 (53) <令和5年4月> 博士(農学)
		食の安全学 ※ 生物学実験 微生物学
兼任	講師	ジョン・フォーセット (59) <令和6年4月> 修士(TESOL) (英国)
		レベルアップ英語 I レベルアップ英語 II
兼任	講師	キョ チュウ 許 冲 (37) <令和6年4月> 博士(農学)
		生物の進化と多様性 ※ 生物学実験
兼任	講師	カナザワ コウ 金沢 功 (37) <令和5年4月> 博士(農学)
		食の安全学 ※ 化学実験 食品加工化学 味と食感の科学 ※

専任・ 兼任・ 兼任の 別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	イノウエ モリマサ 井上 守正 (60) <令和6年4月> 農学士
		食の安全学 ※ 化学実験 食品管理化学 味と食感の科学 ※ インターンシップ
兼任	准教授	ヤマモト アツユキ 山本 敦之 (63) <令和5年4月> 修士(理学)
		哲学
兼任	准教授	ヒバラ ケンイチロウ 松原 健一郎 (47) <令和6年4月> 博士(バイオサイエンス)
		キャリアデザイン I キャリアデザイン II 分子生物学 生物学実験
兼任	准教授	ムラカミ ジロウ 村上 二郎 (53) <令和5年4月> 博士(農学)
		SDGs論 植物生理学 食の安全学 ※ 生物学実験 微生物学
兼任	講師	ジョン・フォーセット (59) <令和6年4月> 修士(TESOL) (英国)
		レベルアップ英語 I レベルアップ英語 II
兼任	講師	キョ チュウ 許 冲 (37) <令和6年4月> 博士(農学)
		課題解決演習 生物の進化と多様性 ※ 生物学実験
兼任	講師	カナザワ コウ 金沢 功 (37) <令和5年4月> 博士(農学)
		課題解決演習 食の安全学 ※ 化学実験 食品加工化学 味と食感の科学 ※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	マキ ダイク 真樹 (43) <令和5年4月> 学士(文学)
		英語基礎Ⅰ 英語基礎Ⅱ
兼任	講師	ダイク ダレン (51) <令和5年4月> 高等学校卒(ニュージーランド)
		アクティブ英語Ⅰ アクティブ英語Ⅱ
兼任	講師	トミオカ ナオミ 富岡 直美 (51) <令和5年4月> 修士(教育学)
		日本語ⅠA(文法) 日本語ⅠB(文法) 日本語ⅡA(文法) 日本語ⅡB(文法)
兼任	講師	タムラ タケシ 田村 剛志 (66) <令和5年4月> 学士(法学)
		日本後ⅠA(読解) 日本後ⅠA(聴解) 日本後ⅠB(読解) 日本後ⅠB(聴解) 日本語ⅡA(読解) 日本語ⅡA(聴解) 日本語ⅡB(読解) 日本語ⅡB(聴解)
兼任	講師	クロダ カナエ 黒田 香苗 (47) <令和5年10月> 修士(文学、医科学)
		心理学
兼任	講師	ヤマモト ケイコ 山本 慶子 (77) <令和5年10月> 学術博士
		文章力の基礎
兼任	講師	ウツノミヤ トシハル 宇都宮 敏治 (74) <令和5年4月> 保健体育学士
		生涯スポーツ論 生涯スポーツ実習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	マキ ダイク 真樹 (43) <令和5年4月> 学士(文学)
		英語基礎Ⅰ 英語基礎Ⅱ
兼任	講師	ダイク ダレン (51) <令和5年4月> 高等学校卒(ニュージーランド)
		アクティブ英語Ⅰ アクティブ英語Ⅱ
兼任	講師	トミオカ ナオミ 富岡 直美 (51) <令和5年4月> 修士(教育学)
		日本語ⅠA(文法) 日本語ⅠB(文法) 日本語ⅡA(文法) 日本語ⅡB(文法)
兼任	講師	タムラ タケシ 田村 剛志 (66) <令和5年4月> 学士(法学)
		日本後ⅠA(読解) 日本後ⅠA(聴解) 日本後ⅠB(読解) 日本後ⅠB(聴解) 日本語ⅡA(読解) 日本語ⅡA(聴解) 日本語ⅡB(読解) 日本語ⅡB(聴解)
兼任	講師	クロダ カナエ 黒田 香苗 (47) <令和5年10月> 修士(文学、医科学)
		心理学
兼任	講師	アイノ トモコ 相野 友子 (66) <令和5年10月> 学士(農学)
		文章力の基礎
兼任	講師	ウツノミヤ トシハル 宇都宮 敏治 (74) <令和5年4月> 保健体育学士
		生涯スポーツ論 生涯スポーツ実習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	コバヤシ ショウジ 小林 尚司 (64) <令和5年4月> 博士(農学)
		南あわじ農業学
兼任	講師	ツキヤマ タクジ 築山 拓司 (49) <令和5年4月> 博士(農学)
		ゲノム情報学
兼任	講師	ハセガワ ヒロシ 長谷川 博 (77) <令和5年4月> 農学博士
		植物生理学
兼任	講師	ミヤタ ツトム 宮田 勉 (54) <令和5年10月> 博士(水産学)
		海洋水産生物ビジネスの経済と流通 ※
兼任	講師	ミズノ マサシ 水野 雅史 (60) <令和6年10月> 学術博士
		生物化学
兼任	講師	ササキ ミツル 佐々木 満 (77) <令和6年4月> 農学博士
		有機化学
兼任	講師	キタ フミヤ 喜多 郁弥 (30) <令和6年4月> 博士(農学)
		水圏の環境と保全 ※
兼任	講師	ドイ ヒロユキ 土井 啓行 (56) <令和6年4月> 博士(水産学)
		アクアリウムサイエンスⅠ アクアリウムサイエンスⅡ
兼任	講師	ヤスノブ ヒデキ 安信 秀樹 (61) <令和7年4月> 農学博士
		水産増養殖Ⅱ ※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	コバヤシ ショウジ 小林 尚司 (64) <令和5年4月> 博士(農学)
		南あわじ農業学
兼任	講師	ツキヤマ タクジ 築山 拓司 (49) <令和5年4月> 博士(農学)
		ゲノム情報学
兼任	講師	ミヤタ ツトム 宮田 勉 (54) <令和5年10月> 博士(水産学)
		海洋水産生物ビジネスの経済と流通 ※
兼任	講師	ノムラ ケイイチ 野村 啓一 (66) <令和6年10月> 農学博士
		生物化学
兼任	講師	ササキ ミツル 佐々木 満 (77) <令和6年4月> 農学博士
		有機化学
兼任	講師	キタ フミヤ 喜多 郁弥 (30) <令和6年4月> 博士(農学)
		水圏の環境と保全 ※
兼任	講師	ドイ ヒロユキ 土井 啓行 (56) <令和6年4月> 博士(水産学)
		アクアリウムサイエンスⅠ アクアリウムサイエンスⅡ
兼任	講師	ヤスノブ ヒデキ 安信 秀樹 (61) <令和7年4月> 農学博士
		水産増養殖Ⅱ ※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	オカ ナオヒロ 岡 直宏 (48) <令和7年10月> 博士(学術)
		水産増養殖Ⅲ
兼任	講師	ヤマウチ トシアキ 山内 利秋 (56) <令和6年4月> 修士(歴史学)
		生涯学習概論 博物館概論 博物館経営論 博物館資料保存論 博物館教育論 博物館情報・メディア論
兼任	講師	ニシザワ マキコ 西澤 真樹子 (48) <令和7年4月> 学士(農学)
		博物館資料論
兼任	講師	キタムラ ミカ 北村 美香 (50) <令和7年10月> 博士(文化政策学)
		博物館展示論
兼任	講師	ドイ ヒロシ 土井 裕司 (73) <令和6年4月> 農学博士
		食品化学 栄養化学 食品衛生学
兼任	講師	ヨシダ ケンイチ 吉田 健一 (59) <令和7年10月> 博士(農学)
		醱酵微生物学
兼任	講師	ヨシダ シンヤ 吉田 晋弥 (71) <令和8年10月> 博士(農学)
		農産物加工学
兼任	講師	ホンダ カズヒサ 本田 和久 (55) <令和7年4月> 博士(農学)
		食肉加工学
兼任	講師	モリタ ヒデトシ 森田 英利 (60) <令和6年4月> 博士(学術)
		乳製品加工学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	オカ ナオヒロ 岡 直宏 (48) <令和7年10月> 博士(学術)
		水産増養殖Ⅲ
兼任	講師	ヤマウチ トシアキ 山内 利秋 (56) <令和6年4月> 修士(歴史学)
		生涯学習概論 博物館概論 博物館経営論 博物館資料保存論 博物館教育論 博物館情報・メディア論
兼任	講師	ニシザワ マキコ 西澤 真樹子 (48) <令和7年4月> 学士(農学)
		博物館資料論
兼任	講師	キタムラ ミカ 北村 美香 (50) <令和7年10月> 博士(文化政策学)
		博物館展示論
兼任	講師	ドイ ヒロシ 土井 裕司 (73) <令和6年4月> 農学博士
		食品化学 栄養化学 食品衛生学
兼任	講師	ヨシダ ケンイチ 吉田 健一 (59) <令和7年10月> 博士(農学)
		醱酵微生物学
兼任	講師	ヨシダ シンヤ 吉田 晋弥 (71) <令和8年10月> 博士(農学)
		農産物加工学
兼任	講師	ホンダ カズヒサ 本田 和久 (55) <令和7年4月> 博士(農学)
		食肉加工学
兼任	講師	モリタ ヒデトシ 森田 英利 (60) <令和6年4月> 博士(学術)
		乳製品加工学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	カワムラ ヨシオ 河村 能夫 (80) ＜令和7年10月＞ 修士(農学)
		農業開発社会学
兼任	講師	カタギリ シンノスケ 片桐 新之助 (46) ＜令和7年10月＞ 学士(総合政策学)
		食と農のデザイン論
兼任	講師	カマダ マヒト 鎌田 磨人 (62) ＜令和7年4月＞ 学術博士
		山・里・海の連携学
兼任	講師	フダノ タカシ 札埜 高志 (52) ＜令和7年10月＞ 博士(農学)
		ランドスケープデザイン学
兼任	講師	フクハラ ヒロユキ 福原 宏幸 (69) ＜令和8年4月＞ 博士(経済学)
		ソーシャルファーム論
兼任	講師	マナベ クニヒロ 眞鍋 邦大 (48) ＜令和8年4月＞ 博士(農学)
		地域マネジメント論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	カワムラ ヨシオ 河村 能夫 (80) ＜令和7年10月＞ 修士(農学)
		農業開発社会学
兼任	講師	カタギリ シンノスケ 片桐 新之助 (46) ＜令和7年10月＞ 学士(総合政策学)
		食と農のデザイン論
兼任	講師	カマダ マヒト 鎌田 磨人 (62) ＜令和7年4月＞ 学術博士
		山・里・海の連携学
兼任	講師	フダノ タカシ 札埜 高志 (52) ＜令和7年10月＞ 博士(農学)
		ランドスケープデザイン学
兼任	講師	フクハラ ヒロユキ 福原 宏幸 (69) ＜令和8年4月＞ 博士(経済学)
		ソーシャルファーム論
兼任	講師	マツバラ シゲヒト 松原 茂仁 (60) ＜令和5年4月＞ 修士(学校教育学) 修士(経営管理)
		経済学 地域マネジメント論
兼任	講師	ヨシナガ ユウジ 吉長 裕司 (64) ＜令和5年4月＞ 博士(工学)
		数理・データサイエンス・AI応用

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教員名簿」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は本字の赤字としてください。
 - ・ 年齢は、それぞれの年度の5月1日時点の満年齢を記入してください。
 - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実(実)、実(実)、兼任、兼任の順に記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和4年度開設であれば令和3年度以前)の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「担当授業科目名」の上段に変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目名を記入するとともに、下段に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目名を記入してください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和5年度】

- ・令和5年3月橋本久美子教授辞任（退職）
- ・令和5年4月水見英子准教授を教授へ昇格
- ・令和5年4月山室達也助教就任
- ・専任教員辞任に伴う科目担当者の変更

- (注)
- ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 - ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ AC教員審査の結果、「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
 - ・ なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
 - ・ 不要な年度（令和4年度開設であれば令和3年度以前）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(注) ・ 計画の区分が「学部等連係課程実施基本組織(学科連係課程実施学科)の設置」の場合、大学設置基準第四十二条の三の二(短期大学設置基準第三条の二)に基づく「連係協力学部等(連係協力学科)」の専任教員数について、「(2)-① 設置基準上の必要専任教員数」及び「(2)-② 専任教員等数【大学】」を連係協力学部等(連係協力学科)ごとに別ファイルで作成してください。

(2)-① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
8	4
名	名

(注) ・ 大学設置基準別表第一、短期大学設置基準別表第一イ、高等専門学校設置基準第六条第二項及び第三項又は第四項により算出される専任教員数を記入してください。
 ・ 高等専門学校の場合、「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数」欄は「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授・准教授数として、高等専門学校設置基準第八条により算出される必要教授・准教授数を記入してください。

(2)-② 専任教員等数【大学・高専】

設置時の計画						現在(報告時)の状況					
教授	准教授	講師	助教	計(A)	助手(A')	教授	准教授	講師	助教	計(B)	助手(B')
4	2	1	1	8	0	3	1	1	2	7	0
(3)	(1)	(1)	(2)	(7)	(0)						
現在(報告時)の完成年度時の状況						現在(報告時)の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計(C)	助手(C')	教授	准教授	講師	助教	計(D)	助手(D')
4	1	1	2	8	0	4	1	1	2	8	0
[]	[Δ]	[]	[]	[]	[]	[]	[Δ]	[]	[]	[]	[]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在(報告時)の状況」には、報告年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。
 ・ 「現在(報告時)の完成年度時の状況」には、履可で設置された学部等の場合は、「現在(報告時)の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在(報告時)の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、 []内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: Δ1)
 ・ 「現在(報告時)の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: Δ1)

(2)-③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢(歳)	報告時(上記(B))の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時(上記(C))の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
65	1	3
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段階書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2)-④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{8}{8} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑤ 現在(報告時)の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在(報告時)の状況(B)}} = \frac{1}{7} = \boxed{14.28} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由
1	教授	橋本 久美子	R5.3	必修	情報活用	①	R4.10.26付けで、本人の願により退職（4）
				選択	数値・データサイエンス・AI基礎	①	
				選択	数値・データサイエンス・AI応用	①	
				選択	数的理解	①	
				必修	基礎演習Ⅰ	①	
				必修	基礎演習Ⅱ	①	
				必修	基礎演習Ⅲ	①	
				必修	基礎演習Ⅳ	①	
				選択	食の安全学 ※	①	
				選択	博物館実習	①	
				選択	味と食感の科学 ※	①	
				必修	海洋水産生物学演習Ⅰ	①	
				必修	海洋水産生物学演習Ⅱ	①	
				必修	海洋水産生物学演習Ⅲ	①	
必修	海洋水産生物学演習Ⅳ	①					
選択	課題研究	①					

合計（D）			後任補充状況の集計（E）							
就任を辞退した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)			
1	人	必修	9	科目	必修	9	科目	必修	0	科目
		選択	7	科目	選択	7	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	16	科目	計	16	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
		該当なし					

合計（F）			後任補充状況の集計（G）							
辞任した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)			
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について、記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計（D） + （F）			後任補充状況の集計（E） + （G）							
辞任等した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)			
1	人	必修	9	科目	必修	9	科目	必修	0	科目
		選択	7	科目	選択	7	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	16	科目	計	16	科目	計	0	科目

(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3)-③合計(D)+(F)}{(2)-②設置時の計画(A)} = \frac{1}{8} = \boxed{12.5} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) -⑤ 令和4年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

人

(注) ・ (3) -①、(3) -②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。
 ・ 令和5年度開設の学科等の場合、(D) + (F) と同数を記載してください。

(3) -⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
		該当なし				

合計		後任補充状況の集計							
辞任した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)	①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)			
0 人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

(注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について、記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

・ 1名(教授)の専任教員の就任辞退(未就任)に伴い、1名(助教)を新たに採用した。これにより、科目担当者の変更を行うことで授業等運営に影響はない。また、開設前の就任辞退(未就任)のため、学生の履修等への影響はない。
--

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区分	附帯事項等	履行状況	今後の実施計画	
認可時 (令和5年)	完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編製の将来構想を策定し、着実に実行すること。	届出時の専任教員8名の年齢構成は完成年次において30歳代2名、50歳代2名、60歳代4名である。その後、50歳代の教授1名の就任辞退（未就任）に伴い、新たに20歳代の助教1名を採用した。これにより、完成年次の専任教員8名の年齢構成は、30歳代3名、50歳代2名、60歳代3名と各年代にバランスよく配置している。なお、完成年度までに65歳を迎える教授が3名おり、これは学園就業規則第67条第2項の規程により完成年度まで延長している。完成年度以降においては本学園で定めた定年規程に基づき後任の専任教員の年齢構成に配慮し採用することとしている。特に学科の中心となる学問分野においては、教員組織の年齢構成及び職位構成も配慮し、同分野の優秀な専任教員を採用することを基本として、継続的な教育・研究の質の保証に努めることとしている。 (5)	履行中	今後も引き続き、主要な分野における高齢専任教員の退職にあたっては、同分野の優秀な若手専任教員を採用することを基本方針とし継続的な教育・研究の質の保証に努める計画である（5）

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおりに記載してください。
 - 【令和4年度報告書から記載内容に変更がある場合】
令和4年度報告書の記載内容を転記し文末に「(4)」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(5)」と記載してください。
 - 【令和4年度報告書から記載内容に変更がない場合】
令和4年度報告書の記載内容を転記し文末に「(4) (5)」と記載してください。
 - 【令和5年度から新たに調査対象となった学科等又は令和4年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】
「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(5)」と記載してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入**してください。その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<農学部 海洋水産生物学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
① 施設・設備 ・図書 令和5年度 148冊増	学生の修学環境を改善するため、図書148冊(和書：143冊、洋書：5冊)増冊した。

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策(FD・SD活動含む)

① 実施体制	
a 委員会の設置状況	
・吉備国際大学教育開発・研究推進中核センター *吉備国際大学教育開発・研究推進中核センター規程を別添添付。	
b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)	
・教育開発・研究推進中核センターは、定例会を毎月1回実施しており、令和4年度については、12回の開催であった。	
第1回 令和4年4月6日(構成員11名中11名出席)	第8回 令和4年11月2日(構成員11名中11名出席)
第2回 令和4年5月11日(構成員11名中11名出席)	第9回 令和4年12月7日(構成員11名中11名出席)
第3回 令和4年6月1日(構成員11名中11名出席)	第10回 令和5年1月11日(構成員11名中10名出席)
第4回 令和4年7月6日(構成員11名中10名出席)	第11回 令和5年2月1日(構成員11名中10名出席)
第5回 令和4年8月3日(構成員11名中11名出席)	第12回 令和5年3月1日(構成員11名中10名出席)
第6回 令和4年9月7日(構成員11名中10名出席)	
第7回 令和4年10月5日(構成員11名中11名出席)	
c 委員会の審議事項等	
・FD研修会の開催について	

<p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・FD・SD研修会（大学院を含む） <p>b 実施方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 外部講師を招聘しての研修及びディスカッション ② 学内教員による研修もしくは外部講師を招聘しての研修 <p>c 開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>① 令和4年8月3日（水） ※Microsoft Teams によるオンライン開催（193名視聴）</p> <p>「LGBT+とあなたのSOGI」</p> <p>講師：松本 洋輔 氏（岡山大学病院ジェンダーセンター講師）</p> <p>「ディスカッション」</p> <p>コーディネーター：森信 繁 保健医療福祉学部長・健康管理センター長</p> <p>② 令和4年9月～12月 学科別で開催 ※対面、オンライン、動画視聴等の形式</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経営社会学科 <ul style="list-style-type: none"> テーマ「探求教育」の実線に向けて（13名参加） ・スポーツ社会学科 <ul style="list-style-type: none"> テーマ「演習科目の充実に向けて—意識と課題の共有—」（9名参加） ・看護学科 <ul style="list-style-type: none"> テーマ「防災・減災および災害・復興支援に関する看護基礎教育の充実に向けて」（18名参加） ・理学療法学科 <ul style="list-style-type: none"> テーマ「理学療法士国家試験 新出題基準について」（10名参加） ・作業療法学科 <ul style="list-style-type: none"> テーマ「授業改善のための授業分析」（7名参加） ・心理学科 <ul style="list-style-type: none"> テーマ「多様な学生を踏まえた授業の進め方：留学生への指導・対応」（9名参加） ・子ども発達教育学科 <ul style="list-style-type: none"> テーマ「電子黒板・Chromebookの活用方法について—授業の中での活用方法—」（20名参加） ・地域創成農学科・醸造学科 <ul style="list-style-type: none"> テーマ「兵庫県高等学校教育の現状、そして高校が大学に期待すること」（19名参加） ・外国学科 <ul style="list-style-type: none"> テーマ「学生らの興味・関心を高めるための授業方法」（13名参加） ・アニメーション文化学科 <ul style="list-style-type: none"> テーマ「アニメーション企業への就職：現在の就職採用状況とその対策」（9名参加） <p>d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況</p> <p>「学生満足度向上委員会・教育向上部会」が主導する毎年春学期、秋学期の年2回実施する学生授業アンケート結果を基に、本学での教育改善の重要事項についてFD企画推進部会が企画し立案している。学生による授業アンケートは、FD・SD研修会以外でもアンケート項目を学部・学科ごとに分析し、その結果は学科長より科目担当教員に返却され、その後担当教員は、授業改善計画書を学科長に提出し授業の改善に取り組んでいる。</p> <p>③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況</p> <p>a 実施の有無及び実施時期</p> <p>春学期および秋学期の年2回実施</p> <p>b 教員や学生への公開状況、方法等</p> <p>大学ホームページ上に掲載</p>
--

(注)・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

① 体制

a 委員会の設置状況

「該当なし」

b 委員会の開催状況（回数や開催日など）

「該当なし」

c 委員会の審議事項等

「該当なし」

d その他

「該当なし」

② 審議状況

「該当なし」

b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

「該当なし」

c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

「該当なし」

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

農学部海洋水産生物学科は1次産業全般を俯瞰した上で、水圏環境を保全し、持続可能な形で利用することを念頭に置き、海洋生物や水環境の保全のみならず、伝統的漁業や先端的な水産増養殖、そして水産食品や水族館など海洋生物資源を利用して展開する産業について幅広い教養を持ち、それらを多様な産業化に応用する知識と技術を有して、グローバルな視点から、新たな産業の創出に貢献できる人材を育成することを目的に本年度開設された。入学した学生は、水圏の環境問題、漁業（養殖を含む）や食品加工、薬品製造分野および環境保全において活躍する人材として社会に貢献したいと強く願っており、授業開始以来強い目的意識を持って勉学に励んでいる。今後も本学部・学科の目標達成に向け、教員1人1人が学生ファーストの理念に立ち教育・研究活動に取り組んでいく。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・令和5年6月1日 公表予定

b 公表方法

・自己点検・評価報告書を大学ホームページ上に掲載

③ 認証評価を受ける計画

（専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院については、機関別認証評価と分野別認証評価それぞれの受審計画について記載してください。）

公益財団法人日本高等教育評価機構の令和4年度大学機関別認証評価の結果、令和5年3月14日付けで「日本高等教育評価機構が定める大学評価基準に適合している」と認定された。またその際、評価報告書に【改善を要する点】として指摘された事項（1件）については、令和7年7月末日までに改善報告書をホームページに公表するとともに、評価機構へ提出することになっている。

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和5年度）

a 公表予定の有無 [(有) ・ 無]

≪ aで「有」の場合≫

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ()]

≪ aで公表「無」の場合≫

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイトに掲載するなど、積極的な情報提供をお願いします。